

平成29年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

課題番号	19002001	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	水田エコテクノロジーによる西アフリカの緑の革命実現とアフリカ型里山集水域の創造		
研究代表者名	若月 利之	研究期間終了時の所属・職	近畿大学・農学部・教授
		現在の所属・職	島根大学・名誉教授

【評価意見】

本研究は、アフリカの農民自らが開発可能な生態環境改良型の水田エコテクノロジーと農村社会に適合的な稲作技術の技術移転・普及に努めながら、それらがアフリカの稲作に持続的で画期的な生産増大をもたらす可能性があることを実際の水田圃場での調査で検証しようというアクションリサーチである。

本研究期間終了後、本テクノロジーは国際研究機関アフリカ稲作センターにより高い評価を受け、西アフリカ各国でその適用が進んでおり、現地における技術移転と普及には大きな進展がみられると言える。また現地の若手研究者の育成にも一定の成果がみられる。

しかし学術雑誌への投稿数や引用数はこれまでのところ必ずしも多くはない。本研究が農学や開発経済学の主流から外れた挑戦的性格を持つ実践的研究であることが原因であると考えられる。研究代表者が述べるように、本研究のエコテクノロジーの意義が広く認められ、その技術移転や普及が進むためには、本研究の実績をより客観的視点から実証的に検証する必要がある。それによっではじめて新しい開発パラダイムの提示につながるという。その意味で、研究代表者らには、既存の主流的稲作開発に対する本研究の優位性を示す実証的データの収集、分析を引き続き行うことを期待する。

研究代表者のみに通知するコメント

このようなアクションリサーチは「単なる開発」であり研究ではないとする批判を乗り越えるために、研究成果で述べられている事実をより多くの国際的な学術雑誌等で公表することが求められる。